

Asahi**KASEI**

グループ事業のご報告

第123期上半期決算
2013.4.1～2013.9.30

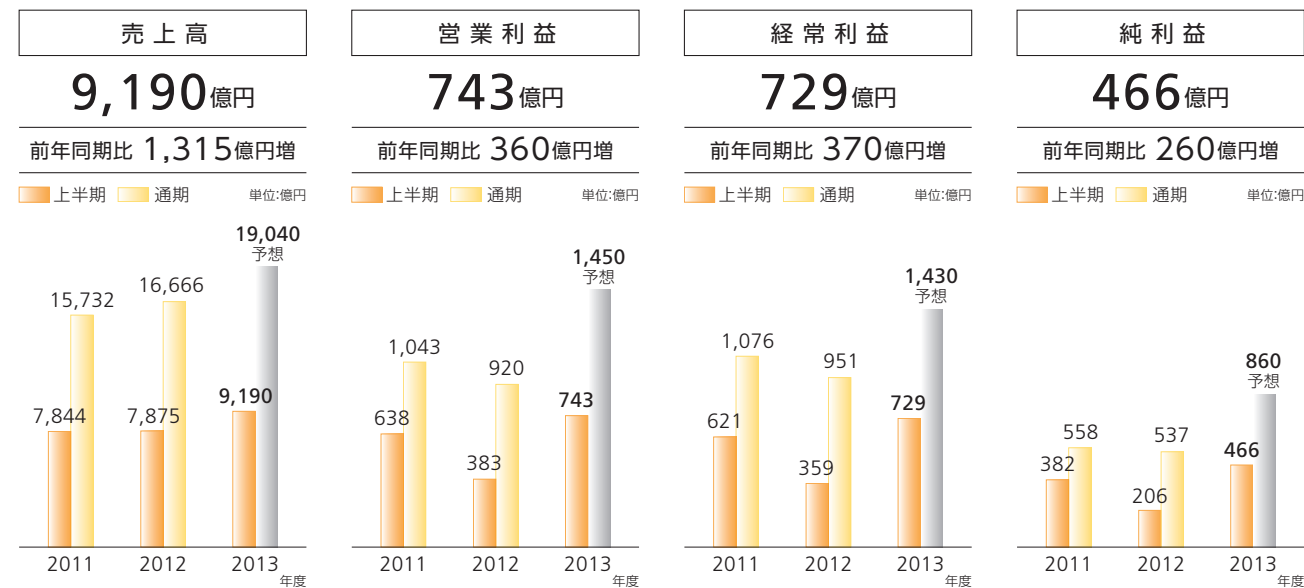
証券コード：3407

旭化成株式会社

内需型事業の好調や輸出事業の採算改善などにより、過去最高の業績を更新

当社グループの当上半期（2013年4月～9月）における連結業績は、住宅事業において引渡戸数が増加したことや、ケミカル事業及び医薬事業において販売量が増加したこと及び円安の進行により輸出事業全般の採算が改善したことなどから、売上高は9,190億円で前年同期比1,315億円（16.7%）の増収となり、営業利

益は743億円で前年同期比360億円（94.0%）の増益、経常利益は729億円で前年同期比370億円（103.2%）の増益、純利益は466億円で前年同期比260億円（126.3%）の増益となりました。いずれも上半期として過去最高の業績を更新しました。



※2013年度通期の予想値は、2013年10月31日時点のものです。



代表取締役会長

伊藤 一郎

代表取締役社長

藤子 建嗣

“グループ事業のご報告”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

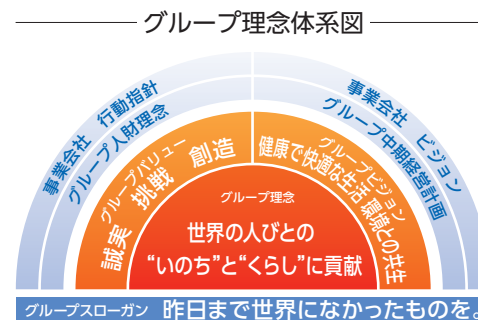
当上半期における世界経済は、米国は緩やかな回復傾向にあり、中国を中心とした新興国の成長鈍化や欧州経済の低迷にも一部底入れの兆しが見られましたが、依然として下振れリスクを抱えており、全体として景気は弱含みな状況で推移しました。また、日本経済についても、政府の経済政策への期待などにより円安・株高が進行し、個人消費が持ち直すなど景況感は改善されつつありますが、実体経済としては回復途上にあり、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中で、当上半期の当社グループの連結業績は、住宅事業や医薬事業といった内需型事業が好調に推移したことに加え、エレクトロニクス事業やケミカル事業を中心に、輸出関連事業で円安の効果を受けたことや、グループ全体で取り組んでいるコスト削減の効果などにより、前年同期比で増収・増益となり、上半期として過去最高の業績となりました。なお、当上半期末の配当につきましては、業績及び配当に関する方針を踏まえ、前年同期と同様、1株につき7円とさせていただきます。

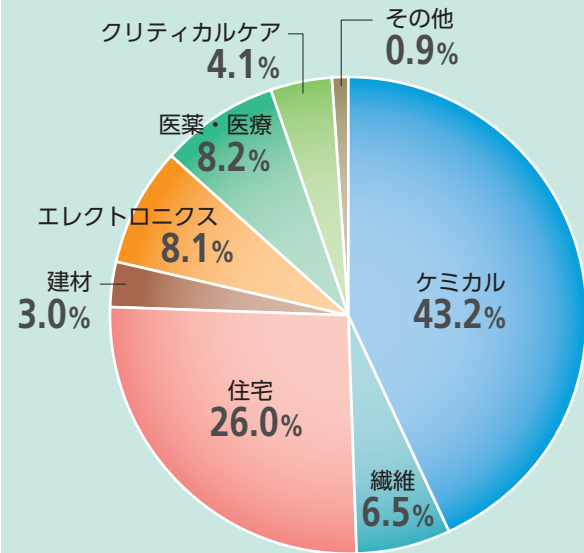
当社グループでは、2011年度より、2015年度を最終年度とする中期経営計画「For Tomorrow 2015」を実行中です。「健康で快適な生活」「環境との共生」の実現を通じて社会に新たな価値を提供することをグループビジョンとし、「グローバルリーディング事業の展開」と、「環境・エネルギー」「住・くらし」「ヘルスケア」の3分野における「新しい社会価値の創出」を事業戦略の柱として取り組んでいます。

2013年度は「For Tomorrow 2015」の中間年度です。国内外の新工場が続々と立ち上がり、収益へ寄与し始める一方、昨年買収した米国の大手救命救急医療機器メーカーZOLL Medical Corporationによるクリティカルケア事業も順調に成長しており、先行き不透明な経済情勢においても、策定した戦略に沿った歩みを着実に進めています。

従来と変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2013年度上半期
セグメント別売上高構成比



当社グループの7つの報告セグメント「ケミカル」「繊維」「住宅」「建材」「エレクトロニクス」「医薬・医療」「クリティカルケア」及び「その他」に区分してご説明します。なお、当期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

また、「クリティカルケア」セグメントは、前期では平成24年4月27日以降の業績を開示していましたが、当期より全期間の業績を連結対象としています。

※2013年度通期の予想値は、10月31日時点のものです。

CHEMICALS

ケミカル (セグメント)



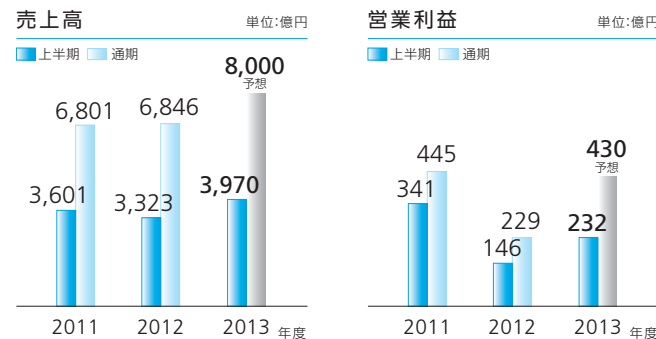
旭化成ケミカルズ株式会社

社長 小林 友二 資本金 30億円

主要製品 石化・モノマー系 (アクリロニトリル、スチレンモノマー、アジピン酸など)、ポリマー系 (エンジニアリング樹脂、ポリエチレン、合成ゴムなど)、高付加価値系 (医薬・食品用添加剤「セオラス™」、中空糸ろ過膜「マイクロザ™」、イオン交換膜、「サランラップ™」など)

売上高は3,970億円で前年同期比647億円(19.5%)の増収となり、営業利益は232億円で前年同期比86億円(59.1%)の増益となりました。

石化・モノマー系事業は、アクリロニトリルの市況が低水準で推移したことや、原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、スチレンモノマーの市況が改善しました。ポリマー系事業は、ポリエチレンなどが原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、エンジニアリング樹脂や省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移しました。高付加価値系事業は、イオン交換膜を中心とした円安の効果に加え、添加剤事業やコーティング事業などの販売が堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。



FIBERS

繊維 (セグメント)



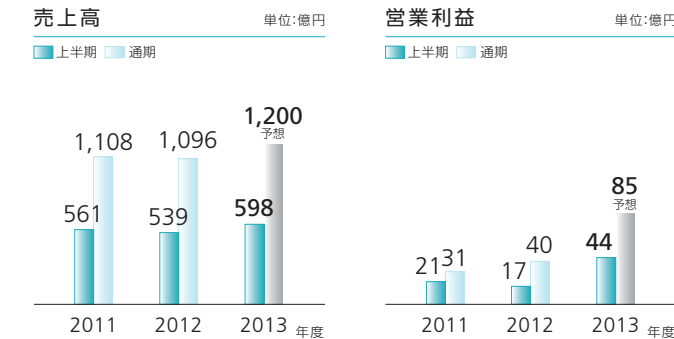
旭化成せんい株式会社

社長 高梨 利雄 資本金 30億円

主要製品 ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」、スパンボンド不織布、ナイロン66繊維「レオナ™」など

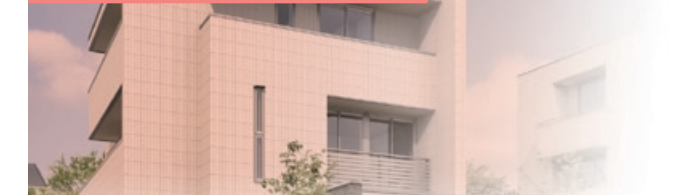
売上高は598億円で前年同期比59億円(11.0%)の増収となり、営業利益は44億円で前年同期比27億円(152.7%)の増益となりました。

各製品において原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、人工皮革「ラムース™」のカーインテリア向けなどの不織布やポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の販売量が増加し、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」の販売も堅調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。



HOMES

住宅 (セグメント)



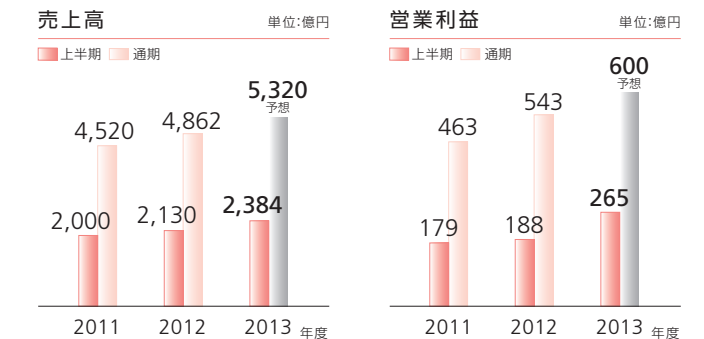
旭化成ホームズ株式会社

社長 平居 正仁 資本金 32億5千万円

主要製品・事業 戸建住宅「ヘーベルハウス™」、集合住宅「ヘーベルメゾン™」、分譲マンション「アトラス™」、「ヘーベルメゾン™」の賃貸管理、リフォーム事業、住宅ローン事業など

売上高は2,384億円で前年同期比253億円(11.9%)の増収となり、営業利益は265億円で前年同期比77億円(40.9%)の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は2,519億円で、前年同期比444億円(21.4%)の増加となりました。

建築請負事業は、好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加しました。また、不動産事業は賃貸管理事業を中心に順調に推移し、リフォーム事業でも大型改築・改装工事などの受注が好調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。



CONSTRUCTION MATERIALS

建材 (セグメント)



旭化成建材株式会社

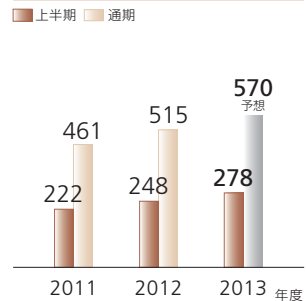
社長 前田 富弘 資本金 30億円

主要製品 軽量気泡コンクリート (ALC)「ヘーベル™」、フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」・「ジュピー™」、パイル、鉄骨構造用資材など

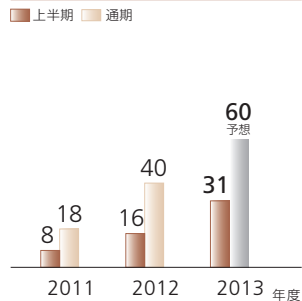
売上高は278億円で前年同期比30億円(12.1%)の増収となり、営業利益は31億円で前年同期比15億円(92.7%)の増益となりました。

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」の販売量が増加し、中小型パイル工法「イーゼット™」・「ATTコラム™」では新規用途の開拓などにより受注が拡大しました。また、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」や構造資材事業の販売も堅調であったことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

売上高 単位:億円



営業利益 単位:億円



ELECTRONICS

エレクトロニクス (セグメント)



旭化成エレクトロニクス株式会社

社長 鴻巣 誠 資本金 30億円

主要製品 ミクスドシグナルLSI、ホール素子など

旭化成イーマテリアルズ株式会社

社長 高山 茂樹 資本金 30億円

主要製品 リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性ドライフィルム「サンフォート™」、フォトマスク防塵保護膜ペリクルなど

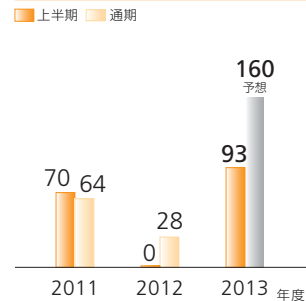
売上高は747億円で前年同期比78億円(11.6%)の増収となり、営業利益は93億円で前年同期比93億円の増益となりました。

電子部品系事業では、各製品において販売価格の下落の影響を受けましたが、円安の効果に加え、スマートフォンなど携帯端末向けで電子コンパスや磁気センサなどの販売量が増加しました。電子材料系事業では、円安の効果に加え、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」をはじめとした各製品における高機能領域の販売が順調に推移しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

売上高 単位:億円



営業利益 単位:億円



HEALTH CARE

医薬・医療 (セグメント)



旭化成ファーマ株式会社

社長 浅野 敏雄 資本金 30億円

主要製品 医療用医薬品 (骨粗鬆症治療剤「テリボン™」、血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」、排尿障害改善剤「フリバス™」) など

旭化成メディカル株式会社

社長 柴田 豊 資本金 30億円

主要製品 ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」、アフェレスス (血液浄化療法) 関連機器、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」など

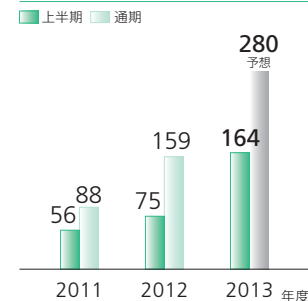
売上高は758億円で前年同期比110億円(16.9%)の増収となり、営業利益は164億円で前年同期比89億円(118.8%)の増益となりました。

医薬事業では、販管費が増加しましたが、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」を中心に販売量が増加しました。医療事業では、血液浄化事業などにおける円安の効果に加え、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売量が増加しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

売上高 単位:億円



営業利益 単位:億円



CRITICAL CARE

クリティカルケア (セグメント)



ZOLL Medical Corporation

C E O Richard A. Packer 資本金 1,723百万ドル (資本剰余金含む)

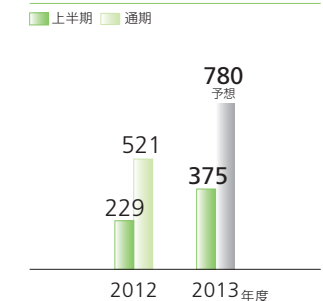
主要製品 医療機関向け除細動器、着用型自動除細動器「LifeVest™」、自動体外式除細動器「ZOLL AED Plus™」、体温管理システムなど

売上高は375億円で前年同期比146億円(64.0%)の増収となり、事業利益(*)は46億円で前年同期比5億円(11.4%)の増益、営業損失は20億円で前年同期比9億円の減益となりました。なお、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響は、前年同期比14億円増加し66億円でした。

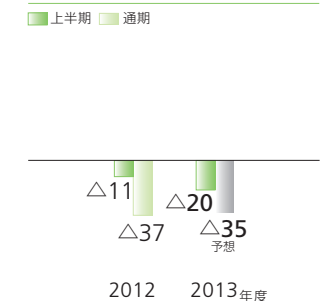
着用型自動除細動器「LifeVest™」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器なども堅調でしたが、営業活動強化のため販管費が増加しました。また、連結対象期間の差異による影響などから、セグメント全体では増収・減益となりました。

(*)事業利益: ZOLL Medical Corporationを買収したことに伴い計上したのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響を除いた営業利益

売上高 単位:億円



営業利益 単位:億円



OTHERS

その他

売上高は80億円で前年同期比9億円(9.9%)の減収となり、営業利益は8億円で前年同期比4億円(31.1%)の減益となりました。

【旭化成】

吉野フェローがロシア「グローバルエネルギー賞」の授賞式に参加

旭化成フェローの吉野彰は、本年6月、ロシア・サンクトペテルブルクにて開催された「グローバルエネルギー賞」の授賞式に参加しました。同賞はエネルギー分野で最も権威ある賞の一つであり、リチウムイ

オン二次電池に関する研究開発の功績が称えられた吉野フェローは「大きな誇りを感じるとともに、これからも世界になかったものを生み出す研究に取り組みたい」と語りました。



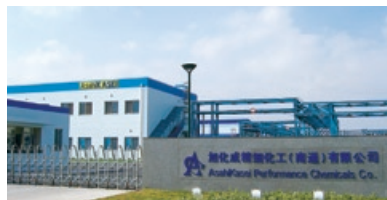
栄誉賞状を授与される吉野フェロー
写真：AP/アフロ

ケミカル (セグメント)

ポリカーボネートジオール「デュラノール™」の中国工場新設を決定

旭化成ケミカルズは、本年8月、ウレタン樹脂の原料であるポリカーボネートジオール「デュラノール™」について、中国工場の新設を決定しました。当社の「デュラノール™」は相溶性や柔軟性を持ち合わ

せた高機能タイプで、自動車用合皮などの分野でアジアトップシェアを誇ります。岡山県・倉敷市及び中国の江蘇省・南通市の2拠点供給体制を通じ、今後も中国を中心とした需要拡大に対応していきます。



旭化成精細化工(南通)に建設予定

繊維 (セグメント)

旭陽産業と新東京旭を合併

旭化成せんいの子会社で、繊維専門商社である旭陽産業と新東京旭は、本年10月に合併し、新たに「旭化成インターテキストルズ」として業務を開始しました。主に北陸繊維産地を基盤に原糸・テキスタイル

ビジネスを幅広く展開する旭陽産業と、山梨産地を基盤に「ベンベルグ™」を用いた裏地ビジネスなどを展開する新東京旭を統合することで、両社の強みを活かした製品開発力と営業力の一層の強化を図ります。



「ベンベルグ™」スーツ裏地での使用例

住宅 (セグメント)

卓上水耕栽培キット「ベジユニ™」を発売

旭化成ホームズは、本年10月、LEDを用いて土を使わず自宅内で野菜やハーブを育てることができる卓上水耕栽培キット「VEGEUNI (ベジユニ)™」を発売しました。コンセントのある場所なら部屋のどこでも

設置できる手軽さと、シンプルでどこに置いても映える美しさを併せ持ち、家族で共に緑を育てるの喜びを感じることができるインテリアとして、豊かな暮らしづくりに貢献していきます。



「ベジユニ™」使用例

建材 (セグメント)

機能別組織体制への移行

旭化成建材は、本年7月、従来の事業分野別の組織体制から、事業本部・営業本部・建材生産センターからなる機能別の組織体制へ移行しました。各組織の機能・役割を明確にするとともに、営業体制を製品別か

ら地域別へと集約し事業の一体感を高めることで、より一層強い組織の構築を目指し、今後も安全・安心で快適な製品とサービスの提供に努めます。

CONSTRUCTION MATERIALS

旭化成建材



エレクトロニクス (セグメント)

感光性ドライフィルム「サンフォート™」の中国新工場が稼働

旭化成イーマテリアルズは、本年10月、モバイル機器などのプリント配線板の回路形成に使用される感光性ドライフィルム「サンフォート™」について、中国の江蘇省・常熟市で新工場を稼働させました。モバイ

ル機器の市場拡大に伴う需要拡大に応じ、既存の静岡県・富士市及び中国の江蘇省・蘇州市の工場とともに安定供給を図り、更なる事業強化を進めていきます。

ELECTRONICS



「サンフォート™」

医薬・医療 (セグメント)

過活動膀胱治療薬「ネオキシ™テープ」を発売

旭化成ファーマは、本年6月、久光製薬が製造販売承認を取得した経皮吸収型の過活動膀胱治療薬「ネオキシ™テープ」について、久光製薬と共同で国内販売を開始し

ました。本剤の適切な情報提供を通じて、過活動膀胱による尿意切迫感や頻尿などの症状に苦しむ患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に、貢献していきます。

HEALTH CARE



「ネオキシ™テープ」

クリティカルケア (セグメント)

着用型自動除細動器「LifeVest™」の国内製造販売承認を取得

旭化成ゾールメディカルは、本年7月、着用型自動除細動器「LifeVest™」の国内における製造販売承認を取得しました。本製品は、入浴時などを除き常時着用することで、心臓の状態を連続して監視し、心臓

突然死につながる不整脈が起こった場合には自動で除細動治療を行う、日本初となる着用型の自動除細動器です。現在国内での販売準備を進めています。

CRITICAL CARE



「LifeVest™」

新工場が続々と立ち上がります！

当社グループの中期経営計画「For Tomorrow 2015」では、グローバルリーディング事業の積極的な展開と、「環境・エネルギー」「住・くらし」「ヘルスケア」の3分野における新しい社会価値の創出を進めています。これら取り組みの一環として、新たに稼働する国内外の工場をご紹介します。

① アクリロニトリル

韓国・ウルサン市 (年産24.5万トン)



樹脂や繊維の原料などに用いられます。2013年2月に新ラインが稼働し、一拠点の生産能力としては世界最大規模に。世界4拠点で事業展開しています。

③ アクリロニトリル

タイ・ラヨン県 (年産20万トン)



プロパンガスを原料とする世界初の技術による工場が2013年1月に稼働。コスト競争力ある生産体制を構築しています。

⑤ スパンボンド不織布

タイ・チョンブリ県 (年産2万トン)



アジア各国で拡大する紙オムツを中心とした衛生材料市場に対応するため、2012年11月に稼働。更なる増設も検討しています。

⑥ 省燃費タイヤ向け合成ゴム

シンガポール・ジュロン島 (年産5万トン)



省燃費かつ高性能なタイヤに用いられます。2013年4月に第1系列が稼働し、第2系列(5万トン)も建設中です。

② アセトニトリル

韓国・ウルサン市 (年産1.1万トン)



医薬溶媒や試薬、農薬などに用いられます。神奈川県・川崎市に続く2拠点目の工場として2014年に稼働予定で、安定供給を図ります。

④ 感光性ドライフィルム 「サンフォート™」

中国・常熟市 (年産1億2,000万m²)



モバイル機器などの配線板の回路形成に用いられる感光性ドライフィルムの中国第2工場が2013年10月に稼働。既存の国内外の工場と合わせ3拠点より供給しています。

⑦ 高性能フェノールフォーム断熱材 「ネオマ™フォーム」

茨城県・境町



建物の省エネ化に伴い、飛躍的な需要拡大が見込まれており、2014年に増設ラインが稼働予定です。

⑧ 医薬研究センター 創薬棟

静岡県・伊豆の国市



アンメットメディカルニーズを満たす新薬を継続的に創出するため、2013年10月に運用を開始。機能の融合や連携・効率の向上、研究の高度化を図ります。

⑨ 再生セルロース繊維 「ベンベルグ™」

宮城県・延岡市



機能性インナーや民族衣装用途などで需要が伸びており、2014年4月に増設ラインが稼働予定です。

⑩ リチウムイオン 二次電池用セパレータ 「ハイポア™」

宮城県・日向市 (年産5,000万m²)



世界No.1シェアを誇り、車載用途の市場拡大が期待されています。2013年7月に増設ラインが稼働し、更に国内外の加工拠点も体制を強化しています。

● ケミカル

● 繊維

● 建材

● エレクトロニクス

● 医薬・医療

P O I N T

当上半期末の総資産は、「住宅」セグメントを中心としたたな卸資産が288億円、保有株式の時価が上昇したことなどにより投資有価証券が112億円増加したことなどから、前連結会計年度末(以下「前期末」)に比べて521億円増加し、1兆8,523億円となりました。

有利子負債は、コマーシャル・ペーパーが200億円減少したことなどから、前期末に比べて210億円減少し、3,604億円となりました。

純資産は、配当金の支払98億円があったものの、純利益を466億円計上したことや、為替換算調整勘定が130億円増加したことなどから、前期末に比べて603億円増加し、8,847億円となりました。

この結果、自己資本比率は47.1%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加249億円、法人税等の支払額157億円などによる支出があったものの、税金等調整前純利益713億円、減価償却費412億円などの収入があったことから、874億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出405億円、無形固定資産の取得による支出101億円などがあったことから、502億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの減少200億円や配当金の支払額98億円、長期借入金の返済による支出72億円などがあったことから、347億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物の為替換算による増加額17億円などがあったことから、現金及び現金同等物の上半期末残高は、前期末より42億円増加し、1,082億円となりました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:億円)

科目	当上半期 2013年9月30日現在	前 期 2013年3月31日現在	前上半期 2012年9月30日現在
資産の部			
流動資産	8,464	8,195	8,136
固定資産	10,059	9,807	8,788
有形固定資産	4,733	4,616	4,386
無形固定資産	2,564	2,554	2,154
投資その他の資産	2,762	2,637	2,248
資産合計	18,523	18,002	16,924
負債の部			
流動負債	5,972	6,029	6,158
固定負債	3,704	3,729	3,576
負債合計	9,676	9,757	9,735
純資産の部			
株主資本	7,707	7,339	7,106
資本金	1,034	1,034	1,034
資本剰余金	794	794	794
利益剰余金	5,904	5,536	5,302
自己株式	△ 25	△ 24	△ 24
その他の包括利益累計額	1,013	782	△ 33
少数株主持分	127	124	116
純資産合計	8,847	8,245	7,189
負債純資産合計	18,523	18,002	16,924

連結損益計算書(要旨)

(単位:億円)

科目	当上半期 2013年4月1日~ 2013年9月30日	前上半期 2012年4月1日~ 2012年9月30日	前 期 2012年4月1日~ 2013年3月31日
売上高	9,190	7,875	16,666
売上原価	6,658	5,852	12,395
売上総利益	2,532	2,023	4,272
販売費及び一般管理費	1,789	1,640	3,352
営業利益	743	383	920
営業外収益	50	40	138
営業外費用	64	65	107
経常利益	729	359	951
特別利益	18	0	3
特別損失	34	31	132
税金等調整前純利益	713	328	823
法人税等	241	118	284
少数株主損益調整前純利益	472	210	539
少数株主損益	損 5	損 4	損 2
純利益	466	206	537

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:億円)

科目	当上半期 2013年4月1日~ 2013年9月30日	前 期 2012年4月1日~ 2013年3月31日	前上半期 2012年4月1日~ 2012年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	874	1,260	299
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 502	△ 2,785	△ 2,286
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 347	1,662	2,214
現金及び現金同等物に 係る換算差額	17	△ 9	△ 57
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	42	129	171
現金及び現金同等物の 期首残高	1,040	964	964
連結範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額 (△は減少)	0	1	1
関係会社の報告期間変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	△ 53	△ 53
現金及び現金同等物の 上半期末(期末)残高	1,082	1,040	1,082

ホームページ
のご紹介

旭化成 決算 説明会

最新の決算説明会の内容を、音声及びスライド資料にてご確認いただけます。

Asahi KASEI 新日本製薬に変わってのぞ。

決算説明会

2014年3月期(第123期)

【音声+スライド】をクリック!!

会社概要 / 株式の状況

(2013年9月30日現在)

会社概要

商号	旭化成株式会社 (Asahi Kasei Corporation)
設立年月日	1931年5月21日
資本金	103,388,521,767円
主要事業	ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケア等の事業を行う会社の株式保有及びその事業活動の管理等
東京本社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング 電話 (03) 3296-3000
大阪本社(本店)	〒530-8205 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル 電話 (06) 7636-3111
連結対象子会社	131社
持分法適用会社	41社
URL	http://www.asahi-kasei.co.jp

役員 (2013年10月1日現在)

代表取締役会長	伊藤 一郎	常勤監査役	川崎 俊之
代表取締役社長 社長執行役員	藤原 健嗣	常勤監査役	永原 肇
取締役 兼常務執行役員	小堀 秀毅	社外監査役	手塚 一男
取締役 兼常務執行役員	小林 宏史	社外監査役	小林 公司
取締役 兼上席執行役員	中尾 正文	常務執行役員	松居 龍
取締役 兼上席執行役員	沢山 博史	常務執行役員	水野 雄氏
取締役 兼上席執行役員	和田 慶宏	上席執行役員	根井 伸一朗
社外取締役	児玉 幸治	執行役員	鴻巣 誠
社外取締役	市野 紀生	執行役員	平居 正仁
社外取締役	白石 真澄	執行役員	小林 友二
		執行役員	浅野 敏雄
		執行役員	岡田 尚記
		執行役員	中村 淳

株式の状況

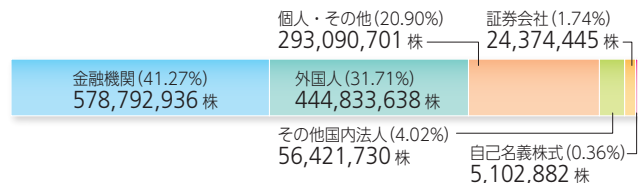
発行可能株式総数	4,000,000,000 株
発行済株式の総数	1,402,616,332 株
株主数	102,963 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	73,337	5.25
日本生命保険相互会社	73,000	5.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	52,816	3.78
旭化成グループ従業員持株会	47,118	3.37
株式会社三井住友銀行	35,404	2.53
株式会社みずほ銀行	31,200	2.23
THE CHASE MANHATTAN BANK,N.A.LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	23,973	1.72
THE BANK OF NEW YORK,TREASY JASDEC ACCOUNT	22,436	1.61
東京海上日動火災保険株式会社	20,215	1.45
住友生命保険相互会社	19,517	1.40

(注) 持株比率については、自己株式 (5,102,882株) を除いて算出しています。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



CLOSE UP



わたしにも、自然にも、気持ちいい。

世界40カ国以上で愛される「Frosch®(フロッシュ®)」を全国展開中

1980年代、深刻な環境問題が起こったヨーロッパの中心・ドイツでは、環境にやさしいものを求めるようになりました。そんな意識の変化にこたえて1986年、フロッシュ®はエコな家庭用洗剤のさきがけとしてドイツで生まれました。旭化成ホームプロダクツは、このような背景で誕生したフロッシュ®に共感し、2012年2月よりフロッシュ®製品の国内販売を開始。きちんと洗える洗浄力・環境負荷の軽減・人へのやさしさがバランスよく設計された製品を展開しています。

1 植物由来の洗浄成分を使用。排水から28日間で92%が生分解され、自然に還ります。

2 ボトルの50%以上がリサイクルPETで作られています。

**フロッシュ®の
エコな取り組み**

3 自社の浄化施設でキレイにした水を街に還しています。

4 ドイツ自然保護連盟(NABU)を通じ、自然保護活動を支援しています。

◆食器用洗剤のラインアップ

色や香りのほか、「**洗浄力**」と「**手肌へのやさしさ**」のバランスで5つのタイプから選べます。

ガンコな汚れも
しっかり落とすタイプ

ソーダ

泡立ちがよく汚れも
しっかり落とすタイプ

オレンジ グレープフルーツ

手肌にやさしく汚れも
しっかり落とすタイプ

アロエヴェラ

スツクリ洗えて
手肌にやさしいタイプ

ザクロ シトラス

フロッシュの中でもっとも
手肌にやさしいタイプ

パフュームフリー

全国のスーパー、ホームセンター、ドラッグストアなどで販売中!



詳しくはホームページへ!

フロッシュ

検索

■ 株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬開催 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日	同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
基準日	中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	公告の方法	電子公告 http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/koukoku/index.html

■ 株式に関するお手続きについて

各お手続きのお問い合わせ先は以下のとおりとなっております。

お手続きの内容	証券会社の口座をご利用の株式についてのお問い合わせ先	特別口座※(1)に記録された株式についてのお問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 住所、姓名などのご変更 配当金の受領方法のご変更 単元未満株式の買取、買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 	お取引証券会社	特別口座の口座管理機関 〔三井住友信託銀行株式会社〕 (証券代行部)
<ul style="list-style-type: none"> 未払配当金の支払請求※(2) その他のお問い合わせ 	株主名簿管理人 〔三井住友信託銀行株式会社 (証券代行部)〕	

(※1) 株券電子化以前に株式会社証券保管振替機構に預託されていなかった株式は、法令に従い、当社が、名義人名で三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座に記録されています。特別口座に記録された株式のご売却には、証券会社の口座への振替手続きが必要です。

(※2) 配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受取りください。

【三井住友信託銀行株式会社 証券代行部】

郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	 0120-782-031 (平日9:00~17:00)
ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【配当金受領方法について】

お受取りには、下記の4つの方法がございます。安全、確実にお受取りいただくために、①～③の口座振込の利用をお奨めいたします。(詳細は上記の各お問い合わせ先にご確認ください。)

- ① 登録配当金受領口座方式**
全てのご所有銘柄の配当金が、ご指定いただいた一つの金融機関預金口座に振込みとなります。
- ② 株式数比例配分方式**
ご利用の各証券口座に振込みとなります。
(注. 当方式を採用している証券口座のみをご利用の株主様に限ります。)
- ③ 個別銘柄指定方式**
ご所有の銘柄ごとにご指定いただいた金融機関預金口座への振込みとなります。
- ④ 配当金領収証方式**
ゆうちょ銀行・郵便局の窓口で現金をお受取りいただけます。

【単元未満株式(1~999株)の買取・買増について】

ご所有の株式の買取りの請求、または買増しの請求をしていただくことができます。(詳細は上記の各お問い合わせ先にご確認ください。)
なお、単元未満株式が特別口座で管理されている場合、手数料は無料です。(証券会社で管理されている場合の手数料は、お取引証券会社にお問い合わせください。)

- **買取請求**
ご所有の単元未満株式を、市場価格で買取る請求をしていただく制度です。
(→ご所有の単元未満株式のご売却となります。)
- **買増請求**
ご所有の単元未満株式が単元株(1,000株)になるために必要な株式数を、市場価格で買増す請求をしていただく制度です。
(→買増し後は、単元株式をご所有いただくこととなります。)

旭化成株式会社

〒530-8205 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル
http://www.asahi-kasei.co.jp

